



経営学部で英語

総合実践英語・ビジネス英語科目の紹介

北海学園大学経営学部では、海外総合実習(3-4ページ)をはじめ、学生のみなさんが英語に触れ、

英語を使う機会を様々な形で提供しています。

この取り組みを支えるのが経営学部独自の英語プログラム、

「総合実践英語」と「ビジネス英語」です。

総合実践英語と ビジネス英語

大学卒業後の社会において、英語を使えることで得られるメリットは決して少なくありません。社会に出て働きながら英語を勉強するのは大変なので、英語学習の実質的な最後の機会である大学で「使える」英語を身につけることが大切です。

そこで北海学園大学経営学部では、1部(昼間部)学生を対象に独自の「総合実践英語」科目と「ビジネス英語」科目を開講し、社会に出たときに役に立つ英語の基礎力および応用力の養成を目指しています。



グループ・プレゼンテーションの準備をする様子 (コミュニケーション・ストラテジーA)



ペアで英語を使って間違い探しをする様子 (コミュニケーション・ストラテジーA)

総合実践英語の科目構成

	1年次
第1学期	●リーディング&ライティング・ストラテジーA
第2学期	●コミュニケーション・ストラテジーA

ビジネス・ライティング

英語圏に限らず、日本国外の相手とのビジネスメールでは英語を用いることが一般的です。この授業では、引き合い、謝罪、苦情といった英文ビジネスメールの種類を知り、効果的な文章構成方法を、実際にメールを書く課題を通して身につけます。

コミュニケーション・ツールとしての 英語を身につける「総合実践英語」

1・2年生を対象とした「総合実践英語」科目は、英語の4技能(読む、書く、聞く、話す力)をまんべんなく身につけることを目標に開講しています。1年次科目のリーディング&ライティング・ストラテジーA(第1学期開講)とコミュニケーション・ストラテジーA(第2学期開講)は全員が履修し、週に2回英語の授業を受けることで、社会に出たときに必要な最低限の英語力をつけることを目指します。

2年生向けに提供されている科目はすべて選択科目となり、ひとりひとりの学生が自分の興味関心や必要性に応じて好きなクラスを組み合わせて履修することが可能です。

English Programs at the Faculty of Business Administration



Stock Investment(株式投資)について英語でプレゼンテーションを行う様子 (リサーチ&プレゼンテーションA) ※2017年度より「リサーチ&プレゼンテーションA」は「ビジネス・プレゼンテーション」に科目変更



自分たちで考えた商品の説明を英語で行う様子(コミュニケーション・ストラテジーB)

ビジネス英語の科目構成

2年次

- ●リーディング・ストラテジーBI
- ライティング・ストラテジーB I
- コミュニケーション・ストラテジーB I
- ●リーディング・ストラテジーB II
- ライティング・ストラテジーB II
- ●コミュニケーション・ストラテジーB II

3年次

- …●ビジネス・ライティング
 - ●ビジネス・コミュニケーション
- ディスカッション・スキル
- . ビジネス・プレゼンテーション
 - ●ビジネス・リーディング
- ●ビジネス・ディスカッション

ビジネス・プレゼンテーション

商談会や取引先との会議など、自社製品やサービスの説明を効果的に 行うことはとても重要です。この授業では、ビジネスの場におけるプレゼン テーションに焦点を当て、短い時間の商品説明や資料を用いた詳しい説明 など、状況に応じたプレゼンテーションできるようになることを目指します。



4年次

英語を使ってディスカッションする様子 (コミュニケーション・ストラテジーB)

什事で使える英語を身につける[ビジネス英語]

経営学部の現在のカリキュラムは、2017年度に3年目を迎え ます。そこで新たに誕生するのが「ビジネス英語」科目です。

「総合実践英語」科目を通じて英語力を培った経営学部生 は、3年次以降に「ビジネス英語」科目を履修することで、卒業 後にビジネス・パーソンとして使える英語を身につけることを目 指します。経営学部生として自分のキャリアを考え、そこで必要 となる英語スキルを身につけるために、これらの科目を自由に 選択することができます。



英字新聞を読む様子(リーディング・ストラテジーB)

カナダ ブロック大学



日本とカナダの企業分析を題材として、英語力の育成 だけでなく、経営学の専門知識の涵養、実務的なコミュ ニケーション能力の習得を目指したプログラムです。具 多様な英語に触れる、2企業の比較分析をして、海外の 企業文化に出会う、❸企業の現場に足を運び、現地企 業スタッフの前でプレゼンし、意見交換することで、実際 に英語を使う経験をするといったことを行います。

▶プログラムの体系

海外総合実習は、第1学期の事前学習、夏休み中の実地研修、第2学期の事後学習の3つに 分かれます。

- 事前学習(4月から7月) …実地研修での成果を向上させるための事前準備のフェーズ
 - 1. 業界分析、企業分析とレポート作成(日本語)
 - 2. レポートに基づいたプレゼンテーションの準備(英語)
 - 3. 英語リスニング、スピーキング、ライティングのトレーニング

「実地研修(9月上旬から3週間)」…ブロック大学(カナダ国オンタリオ州セント・キャサリンズ市)

フェーズ

- 1. グループワークを通じた実地研修の成果の振り返り
- 2. プレゼンテーションやレポート作成による成果の確認



研修地:オンタリオ州セント・キャサリンズ市 セントキャサリンズ市はカナダ東部に位置し、トロント からバスで約1時間半、ナイアガラの滝からは約20 分の場所にあります。ワイナリーが豊富で、周辺の主 要産業のひとつになっています。滞在する9月の平均

気温は約20度前後。治安は極めて良好です。



海外総合実習担当教員(2016年度) [写真]左:大石雅也(人的資源管理)、右:浦野研(英語) マーク・マツネ(事前・事後指導担当)

■事前学習スケジュール(2016年度)

- 4月・オリエンテーション、英語課題開始
- 5月 ・カナダの地理、文化、産業の学習
 - 企業分析および業界分析の方法
 - 企業レポートづくり
 - スライドづくり

6月 • 業界分析

- 企業分析
- 野口観光(株)訪問
- (株)ケイシイシイ訪問

7月・企業レポート仕上げ

- プレゼンテーション準備
- カナダ企業の研究 異文化コミュニケーションワークショップ
- 旅行会社主催のオリエンテーション

8月 • 結団式

「将来に活きる3週間」



長谷川 修哉

所属ゼミ:内藤ゼミ 出身高校:釧路北陽 入学年次:2015年度

海外経験が全くなかった私に留学という言 葉はハードルの高いものでした。そんな私にとっ て仲間と共に行く海外総合実習は最適なプロ グラムでした。

異国の同世代のクラスメイトと学ぶ語学研 修や現地企業の経営幹部を目の前にして行う プレゼン、ナイアガラ地域の観光を満喫できる プログラムや異文化を肌で感じられるホームス テイでの生活など、どれを取っても学びの深い、 本当に充実した日々でした。

海外に出ることの楽しさを知り、日々の経験 の受け止め方を考えるきっかけとなった海外総 合実習は、成長するための機会を数多く与え、 帰国後の原動力になるものであり、将来へ向 けたスタートを切れる留学プログラムでした。













ブロック大学

応用健康科学部、経営学部、教育学部、人文学部、数学科学部、社会科学部の6つの学部と大学院か らなる州立の総合大学です。学生数は約18,000人。カナダだけでなく、様々な国の留学生も数多く在籍し ています。海外総合実習を履修する学生は主にESL(English as a Second Language)プログラムに参 加しますが、メインキャンパスの図書館等各種施設の利用、課外プログラムの一部参加などが可能です。



実地研修のスケジュール(2016年度)



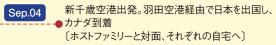












Sep.05 祝日(Labor Day)

ESLオリエンテーション、 Sep.06 キャンパスツアー、クラス分けテスト

Sep.07 ESLオリエンテーション(つづき)、ナイアガラの滝への

Sep.08 ESL授業開始(午前8時から午後4時まで)

Sep.09 ESL授業

タ方:マジックショー鑑賞、ナイアガラの滝のライトアッ プと花火鑑賞

Sep.10 休日

Sep.11 休日

Sep.12 午前: ESL授業 夕方:ボウリング

Sep.13 午前:ESL授業

夕方: 運河博物館(Welland Canal Museum) 見学

Sep.14 FSI 授業

> 〔ランチタイムに英語プレゼンテーションのリハーサルを ESLスタッフの前で行い、質を上げるためのアドバイスをも

午前:ESL授業 Sep.15

午後: White Meadows Farms訪問

(施設見学、英語でのプレゼンテーション、スタッフとの情報

Sep.16 午前: Peller Estates Winery訪問

午後: Annual Brock University Grape Stomp (ブドウの収穫祭に因んだイベント)に参加し、● 全身ブドウまみれに

タ方:ブロック大学アイスホッケーチームの試合観戦

♦トロントへの日帰り観光 Sep.17

休日(ナイアガラ・ワイン・フェスティバル) Sep.18

Sep.19 ESL授業

Sep.20 午後: Americana Waterpark Resorts訪問 〔施設見学、英語でのプレゼンテーション、スタッフとの 情報交換〕

Sep.21 午前:ESL授業

●午後:市庁舎見学、セント・キャサリンズ副市長訪問、 ダウンタウン散策

午前: ESL授業 Sep.22

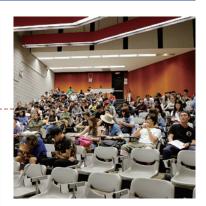
午後: Fort George見学、Niagara-on-the-Lake 観光とアウトレットモール訪問

午前:授業 Sep.23

● 夕方:キャンパス内レストランで修了式

ESL校舎にてホストファミリーと涙のお別れ Sep.24 トロント空港よりカナダ出国

日本帰国 Sep.25 羽田空港経由で新千歳空港到着











Global human resources seminar

グローバル人材育成セミナー

経営学部では、「英語というビジネスツール」を柱に置き、国内外の様々なビジネス・シーンで活躍されている 方々を講師としてお招きした「グローバル人材育成セミナー」を開催しています。

このセミナーは、「バックパッカー」や、「インターンシップ」、「ワーキングホリデー」で海外へ足を運ぶきっかけを作りたい、将来「海外で働きたい!」とのビジョンを描いている学生に対して、大学生のうちに何を準備すれば良いのかを具体的に考える機会を提供しています。

講演後には講師を囲んだ交流会があります。このセミナーをきっかけに海外に飛び出した学生、海外業務のある企業へ就職していった学生が多数出ています。

講義の案内

講演の案内は、経営学部ホームページの「新着情報」、G-PLUS!、また以下のような薄緑を背景としたポスター掲示で行っています。「海外」を考えている学生は是非足を運んでください。









2016年度 グローバル人材育成セミナーより

第16回「グローバル社会の中での 自分の居場所の見つけ方」



[講師] 高柳 未来氏 (株式会社DMC)

JR新千歳空港外国人インフォーメーションデスクや総合商社での貿易業務などを経て、現在はMICE(国際会議や見本市、インセンティブ旅行の開催や誘致)に携わっている高柳氏は「グローバル化の速度が速くなっている」と指摘。

「小さな積み重ねが、自分と日本の未来をつくる。学生時代にいろいるな経験を」とメッセージを送った。

第17回「経験が人を作る」



[講師]湊 和生氏

(C&Cビーコン代表)

大学卒業後に日本航空に入社した湊氏は、 国内外で様々な業務にあたり、現在はJICA北 海道国際センター進路相談カウンセラーとし て活躍。

波乱万丈の人生を振り返り、●毎日の新しい経験を活かすかはその人次第、②自分を枠にはめない、③人は自分の能力をすべて知っている訳ではない、④何かに打ち込み乗り越えた時に自信が滲み出る、⑤過去と他人は変えられないので自分がどう変わるか、とまとめ、経験の大切さを指摘した。

英語演習(ゼミ)

2015年度入学生からは、第2学年から始まる様々なゼミの中から「英語演習(ゼミ)」を履修することができ るようになりました。2016年度には内藤永教授が担当する「内藤ゼミ」、2017年度には浦野研教授が担当する 「浦野ゼミ」がスタートし、この二人の教授が隔年で開講して行きます。

2016年度スタートの内藤ゼミでは、グローバルビジネス人材の育成という大きな目標を掲げ、大学卒業時点 で英語を使った業務をこなす力を身につけるように訓練をしています。

①グローバルビジネス情報をBlogで発信(情報)



グローバルビジネスの情勢は日々変化しています。情報の収集、情報の発信は生 命線とも言えます。ゼミ生たちは、毎日、ビジネス関連情報をネットから収集し、入 手した情報を必ずアウトプット(要約と一言コメント)し、厳選情報をBlogで発信し ています。

https://naitolab.wordpress.com/

②ビジネス書を英語で通読(知識)

情報に触れることは大切ですが、それだけでは物事をじっくり考えたり、観察するための視 点や軸を身に付けることはできませんし、知識としては蓄積されません。そこで、ゼミではビ ジネス書を日本語と英語で丁寧に読み解き、理論体系を把握することや、理論と事例の関り を把握する訓練をしています。2016年度は発展途上国のイノベーションが先進国へ波及する 現象を捉えた『リバース・イノベーション』(ビジャイ・ゴビンダラジャン著)を読破しまし



③台湾とベトナムで海外調査(実践)



情報と知識を得たら、その次は、実際にそれらを使って人的 交流を経験して、知恵を得ていく実践が大切です。学生たちは 自ら企画と計画を立て、航空券や宿を手配し、2016年度は「ス イーツ」をテーマに台湾とベトナムに出かけました。5月に台 北市内で嗜好調査、8月に北広島市の『平成28年度学生地域活 動事業』の助成を受けて、ベトナムのダナンとホーチミンにス イーツを運びアンケート・インタビュー調査を行い、成果を報 告書としてまとめました。学生たちは、日本と海外の考え方の ギャップ、好みの違いなどを体感しました。



台湾調査:国立故宮博物館前にて



ベトナム調査:調査協力のHuong Laiとダナンのビーチにて

この数年で北海道内において外国人を目にする機会が急激に増え、グローバル化を肌で感じるよう になりました。北海道内の企業においても海外展開に向けた動きは加速しています。しかし、海外業務 を担う人材の育成を具体的にどのように進めて行くかが大きな課題となっています。

北海学園大学経営学部では、グローバルビジネス人材の育成を目指して、札幌市経済・観光局国際経 済戦略室海外戦略推進課、札幌商工会議所国際部、株式会社リンケアと連携し、2014年度から世界各 国に40名を超える学生たちを通訳補助として派遣してきました。

English for Specific Purposes (特定の目的のための英語)

「学生が国際展示商談会で通訳ができるの?」、「相当の英語の達人でないと無理では・・・」との声を英語の先生から もいただきますが、English for Specific Purposes(特定の目的のための英語)という考え方を使い、専門知識を積め ば、経営学部の学生でも商談会の通訳を果たすことができます。

■海外商談会の流れ

CEFR

事前学習 企業 商品調査

模擬 商談会

海外 **A1** 商談会

A2

商談後 メール 対応

B1

事前学習

- ①貿易知識
- ②商談会英語
- ③海外商習慣

企業商品調査

- ①企業概要
- ②商品情報
- ③貿易体制
- ④商談会対応

商品説明と通訳

- ①商品特徴
- ②通訳の役割
- ③立ち位置
- 4確認方法
- ⑤英語表現
- ⑥通訳のタイミング
- ⑦トラブル回避策

企業ブース内での オペレーション

- ①会場設営
- ②シフト制
- ③来場者対応
- ④企業担当者からの 要望に対応
- ⑤ 反省会
- 6体調管理

引き合いメール翻訳

- ①メール転送設定
- ②英日翻訳
- ③研究者チーム確認
- 4日英翻訳
- ⑤研究者チーム指導

事前の準備

「事前学習」では、専門家を招いて貿易の知識を習得 すると同時に、商談会で使う英語の表現の習得、さらに は、海外の商習慣や法律などを学びます。

「企業商品調査」では、企業を実際に訪問し、企業の事 業内容について、売込みをする商品の特徴や成分などに ついて、貿易の経験や体制について、また商談会でのバ イヤーへの対応について、詳細な聞き取りを行います。

これらのリサーチを経て、「模擬商談会」においては、1 分程度で商品を説明する、通訳はどこまでする必要があ るのか、どのようなタイミングで話を中断、確認をする のか、分からないことがおきたときにどう対処するのか を練習します。貿易の経験のある専門家にバイヤー役を していただき、実際的な訓練を重ねました。毎回、これら の周到な準備を経て、商談会に臨みます。

いざ商談会

いずれの商談会も、何万人もの来場者がある大規模 なものです。海外というだけでなく、真剣勝負のビジネ スの場面ということで、学生たちは緊張しつつも、英語 で商品を説明し、北海道の企業と海外のバイヤーとの間 に立って通訳を行い、商談会で与えられた業務をこなし て行きます。十分な準備を行っているので、想定外の質 問がバイヤーから寄せられることもほとんどなく、無事 に任務を果たすことができます。

2016年度のシンガポール商談会では、経験を重ね た学生が商談会後もシンガポールに残り、社長とシンガ ポールの投資家の間で行われた交渉の席で通訳の役割 を見事に果たす学生も出ました。

■海外展示商談会派遣人数

2014 年度	2015 年度	2016 年度
FHA	FLA	THAIFEX
(シンガポール)	(シンガポール)	^(タイ)
7名	7名	6名
FoodExpo	WFFS	FLA
(香港)	(アメリカ)	(シンガポール)
6名	6名	8名
WFFS (アメリカ) 5名		



国際展示商談会参加のレポート



中川 竣貴

所属ゼミ: 今野ゼミ 出身高校:札幌新川 入学年次:2014年度

私は昨年のシンガポール商談会を始めとして、今年 5月のタイ、そして今回のシンガポールと、3回海外商 談会に学生通訳として参加しました。

これらのプログラムを通して、英語力や貿易知識、 ビジネスマナーなど、学ぶことは多くありましたが、グ ローバルな環境で働いていく上で最も必要だと感じ たのは体力です。私が参加した商談会はすべて、1日 約8時間、3日連続で行われていました。どれほど語学 力が優れていても、体力がなければその期間中に元 気に商品説明、通訳をやり遂げることはできません。 また、体力が重要であるというのは、これらのプログラ ムを通してお会いした、グローバルな立ち位置でお仕 事されている方々から学んだことでもあります。慣れ ない土地での生活、夜遅くまでのお仕事の中、疲れを 感じさせないほど活発に動いている方々を見て、身体 的、そして精神的な体力を身につける必要があると強 く感じました。

海外商談会で学んだことを将来の仕事で存分に発 揮できるよう、学生である間に身体、精神の両方の体 力を身に付けていきたいと思います。

社長:シンガポール のどの地域での展 開を考えているか 聞いてください。

学生:Where are you considering to expand in Singapore?



学生: Would you like to try?





札幌市・札幌商工会議所の担当者を招いて商品説明練習



バイヤーとの質疑練習



企業商品調査

実践する 学び

産学連携事業

社長に弟子人りプロジェクト

経営学部では、2015年に北海道中小企業家同友会と協定を結び、 このプロジェクトでは、産学連携事業として「社長に弟子入りプロジェクト」を実施しています。 具体的には、夏休みを利用して、学生が社長に2日間帯同し、 社内外の打ち合わせ、新規事業の現場への立会い、銀行回りなどを経験します。 2016年度は、25名の2年生が、17社の社長に弟子入りしました。

受け入れ企業一覧(全17社)

	企業名	氏名		業種		企業名	氏名		業種
1	(株)ASCe	代表取締役	後藤 亮太	機械器具製造業	10	(株)テックサプライ	代表取締役	幡 優子	ビルメンテナンス業
1	(株)井上技研 代表取締役 犬嶋 清幸 総合工事業	総合工事業	11	(株)ハイテックシステム	専務取締役	酒井 裕司	電気機械器具製造業		
•	(1水) 开工1又4川	専務取締役	犬嶋 由香里	松石工争未	12	(株)プリプレス・センター	代表取締役	藤田 靖	印刷業
3	(株)内池建設	代表取締役	内池 秀敏	建設業	12	北海道郵便逓送(株)	代表取締役	加藤 欽也	運送業
4	(株)エスコム	代表取締役	長井 伸樹	広告業	10	化海坦野皮地丛(林)	代表取締役	齋藤 浩市	庄 丛木
9	(株)エムジー・コーポレーション	専務取締役	後藤 章仁	広告業	14	(株)ヤブシタ	代表取締役	森 忠裕	空調機器製造·販売
6	(株)恒栄工業	専務取締役	上原 伸也	設備工事業	15	リージョンズ(株)	代表取締役	高岡 幸生	人材紹介事業
1	(株)三五工務店	代表取締役	田中 寿広	建築業	16	(株)レイジックス	代表取締役	敬禮 匡	飲食業
8	サンマルコ食品(株)	代表取締役	藤井 幸一	食料品製造業	17	ワコオ工業(株)	代表取締役	和田 一仁	機械等修理業
9	(株)ティーピーパック	代表取締役	池川 和人	包装資材企画·販売業					



社長に弟子人りを終えて

弟子入り先 ▶ (株) プリプレス・センター



大志田 咲希

所属ゼミ: 大平ゼミ 出身高校: 旭川北 入学年次: 2015年度

社長に弟子入りプロジェクトに参加する中で、 「課題になりそうなことを予測し、先に行動する」 という社長の言葉がとても印象に残りました。

私は、物事を予測するのが苦手で、いつも直面 した課題をこなすので精一杯でした。しかし、今 は主流でなくとも将来必要になる投資を行うなど 将来を見据えた経営を行う社長に弟子入りしたこ とで、色々な知識を活かし、つなぎ合わせていく ことで将来の予測ができることを学びました。

今回の社長に弟子入りプロジェクトを通じて、将来を予測するには、様々な知識が必要だということ、私の学ぼうとする意欲が低いことを痛感したので、これから色々なことを学んでいかなければと気持ちを新たにすることができました。

弟子入り先 ▶ (株)三五工務店



乾 響太

所属ゼミ: 大石ゼミ 出身高校: 札幌国際情報 入学年次: 2015年度

金融機関との商談や住宅引渡しへの同行、現場作業見学、モデルハウス訪問など、多くの貴重な体験ができました。

しかし、私にとって最も学びがあったのは、社長と"物凄く身近な距離で"お話しすることができた時間です。お話させていただく中で、「仕事に対する熱い思い」や「地域に恩返しをするという強い信念」などといった「意志」を持って、徹底的に働くことの大切さを教えられました。

普段、講演会などでお話を聞けることはあっても、経営者の方と直接お話しできる機会は滅多にありません。このプロジェクトへの参加で、とても刺激的かつ濃密な時間を過ごすことができました。

弟子人り先 ▶ (株) 三五工務店



中島 花厘

所属ゼミ: 2部生のため、3年次 よりゼミに所属

出身高校:札幌大谷 入学年次:2015年度

実のところ、「社長になりたい」と思ったことは一度もありませんが、私は夏休みに「社長に弟子入り」に参加しました。では、なぜ参加したのかというと1年次の「地域経営者に学ぶ」の講義で「どうして社長はあんなに楽しそうに仕事をしているのだろう?」と疑問を持ったからです。

参加してわかったことは、「小さなこと」の大切さです。例えば、明るい挨拶をする、誰かにアメ玉を1つプレゼントするとか。小さなことでも相手が喜んでくれたなら自分も嬉しくなるはずです。たとえ社長を目指していなくても学びがありました。

はじめはプロジェクトへの参加を迷っていましたが、今は参加してよかったと心から思います。

キャリアサポートプログラム

詳しくはFacebookをご覧ください。

「経営学部CSP」公式 Facebook https://www.facebook.com/hgubacsp

(○ 北海学園 CSP

SEARCH



CSPは経営学部独自のキャリア育成プログラムです。 このプログラムは単なる就活対策ではなく、 生涯にわたるキャリア(職業人生)全体を

長い目でみて考えることのできる自律性の育成に重点を置いています。

ここでは、CSPを受講した学生3名の声を取り上げます。

CSPを受講した先輩の声

CSPでの学びと今の私 一常にベストを尽くす自分—

私にとってCSPは「失敗があっての成長」だと気付かせてくれた、「失敗できる実践(アウ トプット)の場」でした。素晴らしい先生方や授業と出会うことで、自分の成長を日々実感で きました。そして、常に緊張感を持って授業に取り組むことで、CSPに溢れているチャンスを 最大限に活用できたと感じています。

就職活動では、一喜一憂しながらも、仲間と励ましあい、最終的には納得のできる道に進む ことができました。これもCSPで「学び→実践→失敗→発見→成長」というプロセスを通して 学んでいたからだと思います。

プログラムを終えてからは、どんなことにも常にベストを尽くす自分がいました。大学生活 をどのように送るかは自身の行動次第です。私はCSPに挑戦することで、出会い、自信、成長 に繋がる素晴らしい経験ができました。これからもCSPで得たことを自身のキャリアに活か し、大きく成長したいと考えています。



友杉 さおり

内 定 先:大手家具業 所属ゼミ: 大平ゼミ 出身高校: 苫小牧東 入学年次:2013年度



大嶋 瞳

内 定 先:地元大手人材サービス

所属ゼミ: 大石ゼミ 出身高校:函館稜北 入学年次:2013年度

CSPを通して学んだ大切なこと

私がCSPに参加し、大切だと思ったことは大きく分けて2点あります。

1.知識の実践と応用

「企業研修プログラム」では数多くの分析方法を学び、それらを用いて業界・企業研究を行 います。2年間かけて学んできたことを定期試験で終わりにするのではなく、就職活動やアル バイトなどあらゆる場面で実践し、応用することの重要性を痛感しました。就職活動での事前 準備では、自身や企業を様々な角度から分析し、理解することで、自分が満足する就職活動が できました。

2.先生や仲間との出会い

CSPでは、難しい課題など辛いこともたくさんありましたが、一緒に支え合ってきた仲間 や、頑張った分だけ応えてくれる先生方がいて下さったからこそ乗り越え、成長することがで きました。先生方との距離が近いのもCSPの魅力です。

私はCSPでの経験を活かし、様々な場面で得た知識を実践し応用することを心がけ、そし て周りの支えてくれる方々に感謝を忘れない社会人になりたいです。

CSPだからこそ得られた大切な時間

CSPに参加したことで、私は2つの大切な時間を手にすることができました。

1.自分としっかりと向き合う時間

CSPは、自分の考えや行動に対してすぐにフィードバックをもらえる仕組みが整っていま す。したがって、短いスパンで何度も自分の考えを深めることができ、自分がどのような「選 択軸」をもっているかをしっかりと整理することができました。その結果、就職活動において も、どういった方向に進んで行きたいのかが明確になり、迷うことなく就職活動を進めること ができたと思います。

2.志の高い仲間と高めあう時間

CSPには高い志を持った仲間がたくさんいます。その仲間と一緒に目標を定め、課題にぶ つかり、解決策を探るという工程は本当にお互いを刺激し合います。CSPの仲間や先生方と 意見をぶつけ合ったおかげで、自分の考えの幅が広がっただけでなく、自分が知らない環境に もどんどん挑戦しようという思いが生まれました。

CSPで経験したこれらの学びを活かし、この先社会人として働いていく中でも、しっかりと 自分と向き合い、「目標」を掲げ「挑戦」し続けようと思います。



江島 征幸

内 定 先:大手情報通信業 所属ゼミ: 大石ゼミ

出身高校:千歳高校 入学年次:2013年度

ゴス/スプ [2部 開講ゼミ編]

大学で開講されるゼミナール(演習)とは、 通常の講義の人数よりもはるかに少ない人数の学生が、 特定の教員の下で特定の分野を 専門的により深く勉強していく科目です。 経営学部では、経営学のみならず、 会計学、心理学、情報、マーケティング、金融などの 様々な分野のゼミナールが開講されています。

2部

3年と4年で、異なる演習を選択

3年次

4年次

演習A

演習B

*演習によっては、毎年開講され ている場合あり

柔軟なゼミ 選択が可能!

幅広く

学べる!

他ゼミについては経営学部HPのゼミ紹介ページを ゼミ担当教員の詳細は教員紹介ページをご覧ください。 *ぜみなびでは、23号~26号の4号連続で、ゼミナール担当教 員とゼミ所属学生が、「うちのゼミはどんなゼミなのか?」を紹介 しました。28号では、2部開講のゼミのうち、佐藤ゼミ、上田ゼ ミ、春日ゼミを紹介します。

戦略

起業

心理

経営

組織

企業

金融

ティング

会計

情報

23号、24号、25号、26号は、学部HPに、バックナンバーが あります。

▶ゼミ紹介ページ

ゼミ紹介

http://ba.hgu.jp/program/seminal

○ 北海学園大学 経営学部 ゼミ

SEARCH



▶教員紹介ページ

http://ba.hgu.jp/teacher

○ 北海学園大学 経営学部 教員紹介

SEARCH



春日ゼミ

演習A·B:8名

ゼミコンパ あり

あり



春日 賢 教授 [担当科目] 経営学説史/ 現代マネジメント理論



桜庭 美和 ●出身高校:浦河 ●入学年次:2015年度編入学



■良い企業とは? 優れたマネジメントとは?

前期は身近な優良企業(自動車業界)のケースを取 り上げるとともに、日経新聞を読んでいきます。後期は テキストを1冊決めて、みんなで内容を検討していきま す。この合間に、DVDで学習し、できれば企業・工場 見学などの課外活動も行います。課題については、基 本的なものから段階的に順を追って出していきます。

> ゼミテーマは「良い企業とは?優れたマネジメントとは?」 というもので、自動車業界を例に組織・経営についてわか りやすく学ぶことができます。企業を調べることで成果をあ げる組織づくりの基本がみえてきます。調べた内容をプレ ゼンテーションすることで、仕事や他の場に役に立ちます。 メンバーで取り組むことが主なので、社会に出て求められる



グループ・ワークなども行いながら、最終的にはそれぞ れ自分が興味ある業界・企業の調査レポートの提出を もって1年間の総仕上げとなります。ゼミ生は自らこれ らをしっかりとこなしていくなかで、成果を自分のもの とすることになります。

協働と自律性の実践の場 にもなります。

意見交換での質問に は、先生の解説もあり先

生との会話が楽しい時間になることが多いです。春日先生 は漫画・飲食系も詳しく楽しく過ごせるゼミです。



佐藤 大輔 教授 [担当科目] 経営管理



今川 菜美子 出身高校:札幌手稲 ●入学年次:2015年度編入学

■「勉強」ではなく「研究」をゼミナール

ゼミナールでは、企業との連携プロジェクトをはじめ とする実践的なプログラムを展開しています。ゼミ活動 の中で、ゼミ生は理論を先に「勉強」するのではなく、 まず行動を起こし経験する中で問題にぶつかり、そのと きに初めて理論を学びます。このように自分の必要に 応じて知識を探求する取り組みは「研究」と呼ばれま す。「研究」では理論通りの正解を出すことよりも、む しろ理論を参考程度に自分なりのアイディアを自由に

佐藤ゼミは「今までにない経験」ができる"エキサイティン

グ"なゼミです。先生からプロジェクトを任されます。あるいは

自分たちでやりたいプロジェクトを設定して、実践していきま

す。自ら動き、感じ、考え、自分の問題を持ってプロジェクトに

取り組みます。とことんやれます!そして、とことん付き合ってく





生み出すことが重視されます。

このような「研究」にこだわるのは、私たちがクリエ イティビティ(創造性)を標榜するゼミだからです。こ のような学びをつうじて、社会に変革を起こす人をつく ることが私たちの目標です。



十勝管内広尾町との連携プロジェクトにおいて、現地の高校生と地域活性化 のためのアイディアを話し合っています。

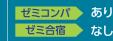
その中で、自分という人 間に向き合い、自らが変 わっていく(成長していく)こ とを実感できるゼミだと思 います。そして、それが社会

に出たときに大事な自分の価値観や自信となると思います。

上田ゼミ

演習A·B:5名

れる先生がいます。





上田 雅幸 准教授 [担当科目] 情報科学/情報処理



●出身高校:札幌北陵 ■入学年次:2014年度



演習は、座学ではなく実習がメインです。課題に応じて、ゼミ生間で相談しなが ら作業が進められます。





上田ゼミでは、Excelの活用方法(複数の関数を組合せ た作業の効率化や意思決定問題に対する答えを求めるた めの"ソルバー機能"など)について学習できます。Excelに対 して苦手意識を持っている学生でも、先生が親切・丁寧に最 後まで教えてくれます。既にExcelの知識がある学生にとって は、更に学習する機会になります。

■情報技術の活用能力を高める!

"ダイエットを成功させ るには?"といった日常生 活における意思決定か ら"生産・輸送・販売"と いった経営上の意思決 定まで、私たちは多くの 場面で意思決定を行う



必要があります。私のゼミでは、こうした意思決定を経験や 勘ではなく科学的に行う方法について学習しています。

私のゼミの目標は、"こうした意思決定においてコンピュー タを活用できそうだと感知する能力を高めること"です。私の ゼミでは、身近な存在になったコンピュータを大いに活用す ることで、作業の効率化、最適化やシミュレーションによる 問題解決を図れるようになることを目指しています。

※2部のゼミは、1年完結型の プログラムとなっています。

ゼミ活動を通じて高めら れるExcelの活用能力は、さ まざまな業務にも役立てる ことができるはずです。上田



ゼミでの学びは、役に立つこと請け合いです。是非、皆さんも 所属してください。



教員の研究紹介(科研費助成を受けている研究)

科研費

大学教員は、講義だけでなく、自身の研究を行っています。こうした研究活動によって、新しい理論・知見が発見され、これらの理論・知見を踏まえた講義が展開されることになります。また、研究とは、"学問をする" ということでもあるので、研究活動それ自体が学生に対して学問に臨む姿勢を伝えることにもなります。

今号では、数多くの経営学部教員の研究の中でも、外部資金である科研費助成を受けている赤石先生、 古谷先生の研究を紹介します。

科研費とは

科研費(科学研究費)は、人文・社会科学から自然科学までの全ての分野にわたり、基礎から応用までのあらゆる「学術研究」を格段に発展させることを目的とする「競争的研究資金」であり、専門分野の近い複数の研究者による審査を経て、独創的・先駆的な研究に対する助成を行うものです。

科研費の採択率

平均 26.3%

申請をした研究テーマが、全て採択されるわけではありません。毎年 多くの研究者が科研費助成の申請を行いますが、その採択率は平均 26.3% (過去10年の平均) となっています。

基盤研究 (A·B·C)	一人又は複数の研究者が共同して行う独創的・先駆的な研究 (期間3~5年間、応募総額によりA・B・Cに区分) (A)2,000万円以上5,000万円以下 (B)500万円以上2,000万円以下 (C)500万円以下
挑戦的萌芽研究	一人又は複数の研究者で組織する研究計画であって独創的な発想に基づく、挑戦的で高い目標設定を掲げた芽生え期の研究 (期間1~3年間、応募総額500万円以下)
若手研究(A·B)	若手研究者(研究開始年度の4月1日現在において39歳以下)が一人で行う研究(期間2〜4年間、応募総額によりA・Bに区分)(A)500万円以上3,000万円以下(B)500万円以下

経営学部がこれまで獲得した科研費の総額

総額8,937万円を獲得

経営学部では、学部開設以来、下表に示すような28件の研究課題で、経営学部教員が研究代表者となり、<mark>総額8,937万円の助成</mark>を受けています。 研究課題の内容や研究期間の長さによって、助成される金額も変わるので、一概には言えませんが、1課題あたり平均319万円(基盤C:334万円、若手B:321万円)が、1研究年に対して平均111万円が助成されています。

また、他大学の教員が代表者となっている研究課題に、研究分担者として参画している場合もあります。

経営学部教員の科研費採択一覧

学部開設以来、科研費の助成を受けた経営学部教員の研究課題は下記となります。それぞれの詳細は、科学研究費助成事業データベース(http://kaken.nii.ac.jp/)で検索することができます。





■代表者となっている研究課題…28件

採択年度	氏名	研究課題等	課題番号	期間	研究種別
2016年度	関谷浩行	サービス業におけるイノベーションの創出が組織業績に与える影響の理論的・実証的研究	16K17210	3年	若手研究(B)
2015年度	吉川大介	将来の出来事の発生確率が分からない場合の非完備市場における取引の研究	15K03546	3年	基盤研究(C)
2014年度	内藤永	海外事業所で起きるミスコミュニケーションに関する解決事例のプラットフォーム構築	26580110	3年	挑戦的萌芽研究
	古谷嘉一郎	完全主義、情報源の種類、情報収集の仕方が育児情報環境評価と適応に与える影響	26750352	3年	若手研究(B)
	赤石篤紀	新規株式公開を契機とした株式所有構造と企業経営の変容プロセスに関する実証的研究	26780211	3年	若手研究(B)
2013年度	菅原秀幸	経済性と社会性の同時実現を図るBOPビジネスの理論的・実証的研究	25380520	3年	基盤研究(C)
	森永泰史*	デザイナーと技術革新	25780238	4年	若手研究(B)
2012年度	菅原浩信	商店街組織によるコミュニティの活性化	23530539	4年	基盤研究(C)
	山中亮*	故人の絆に地域風土が及ぼす影響:地域に根ざしたグリーフカウンセリングに向けて	23653207	2年	挑戦的萌芽研究
2010年度	菅原秀幸	発展途上国における企業利益と社会利益の同時実現型ビジネスの可能性と課題の実証分析	22530419	3年	基盤研究(C)
	五十嵐祐*	インターネット上の「情報爆発」がもたらす孤立と孤独の生起メカニズムの解明	22730483	3年	若手研究(B)
	増地あゆみ	リスク情報の感情価と共有方法の違いが組織のリスク判断に及ぼす影響に関する実験研究	22730484	3年	若手研究(B)
2009年度	内藤永	小規模事業所の海外取引に関わる実務英語の事例研究	21520630	3年	基盤研究(C)
	佐藤大輔	日本企業におけるトップ・マネジメントのメンバー特性に関する静態的・動態的実証研究	21730311	3年	若手研究(B)
2008年度	菅原浩信	商店街組織における複合的なソーシャル・キャピタルの形成と果たすべき役割	20530389	3年	基盤研究(C)
	福野光輝*	公共事業紛争の解決におけるマクロ公正アプローチ	20530574	3年	基盤研究(C)
	赤石篤紀	株式公開後のベンチャー・新興企業の財務構造とガバナンス構造の変化に関する実証研究	20730255	2年	若手研究(B)
2005年度	田中史人*	産業クラスターの創出・育成による地域企業の経営革新と新規創業の促進に関する研究	17530294	2年	基盤研究(C)
	浅村亮彦	バーチャルリアリティによる疑似体験が空間学習に及ぼす影響の解明	17650075	3年	挑戦的萌芽研究
	鈴木修司	評価尺度によるフレーミング効果に関する研究	17730366	3年	若手研究(B)
	福野光輝*	公共事業における合意形成過程の社会心理学的分析:マイクロ-マクロ公正の役割	17730367	3年	若手研究(B)
	増地あゆみ	組織のリスク管理における情動体験共有の効果に関する実験的研究	17730368	3年	若手研究(B)
2004年度	牛丸元*	戦略的提携の安定性と組織学習効果に関する総合研究-理論的解明と実証-	16530261	2年	基盤研究(C)
2003年度	石田修一*	産業集積化にはたす研究開発とビジネスモデルの有効性検証	15730192	3年	若手研究(B)
	黒田重雄*	比較マーケティング研究における一展開-国際市場細分化を中心とする実証化-	15530286	2年	基盤研究(C)
2001年度	浅村亮彦	方向感覚の個人差による空間学習および空間移動時の方略の異質性に関する研究	14710048	3年	若手研究(B)
	増地あゆみ	リスク認知における情動反応とリスク対処行動との関係分析	14710036	2年	若手研究(B)
	福野光輝*	公共事業における紛争解決過程の社会心理学的分析	14710063	3年	若手研究(B)

※敬称略。在籍時に採択された研究課題を記載。・印は2016年3月現在で退職あるいは転出している教員。 ※前任校在籍での採択課題を本大学に赴任後も継続している場合も記載。 ※各年度の掲載順は課題番号順



新規株式公開を契機とした株式所有構造と 企業経営の変容プロセスに関する実証的研究



赤石 篤紀 教授

- ●課題番号:26780211
- ●種別:若手研究B (2014年度~2016年度)
- ●主たる担当科目 ファイナンス/ コーポレート・ファイナンス

■研究の目的

会社設立後、会社は事業を通じて生み出した 利益を蓄積・再投資し、かつ複数回の資本調達を 経て、成長していきます。そして、ある程度の段階 まで成長すると、自社の株式を広く一般に向けて 発行できるようになり、それ以降、その株式は株式 市場で広く公に取引されるようになります。この一 般に向けた初めての株式発行を、新規株式公開 (Initial Public Offering:以下IPO)といいます。

このIPOによって、会社はprivate company か Spublic companyとなることから、IPOは企業の 成長過程におけるターニングポイントとして捉える ことができます。

本研究では、このIPOが企業経営の実態面に与

える影響を、企業の財務データを用いた分析によっ て、実証的に明らかにすることを目的としています。

■現在までの検討結果の概要 [IPO後の業績]

IPOを行った会社のIPO後の業績に着目する と、IPO後に成長性は鈍化し、IPOから5期を経て 横ばいになること、収益性についてはIPOをピーク とした逆V現象がみられることを確認しました。この ことは、IPOが更なる成長や収益機会をもたらすイ ベントというよりは、一定の成長を経た結果として のイベントであることを示唆しています。

[IPO後の株式所有構造]

また、IPO後、株式の分散化、所有と経営の分 離が進み、IPO前の支配株主の株式所有を通じ た影響力が減退することがデータ上からも明らか になりました。そして、創業者を含む経営陣が大株 主となっている企業において、経営陣の持株比率 が高い企業ほど、IPO後の収益性が高くなること が示され、所有構造と業績との間に一定の関係

Perfectionistic strivings (完 全主義的努力) & perfectionistic

ctionistic errs(完全主義的無 の一次元分類

があることが分かりました。

3.2 支配株主によるIPO企業の

・15%以上保相する株主

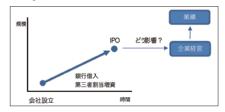
■以降の予定

◎IPO企業の特徴(会社所有型企業:202社)

上記以外にも、いくつかのサブテーマの考察を 予定しています。いわゆるIPOのメリットの検証 で、具体的には下記のようなことを明らかにしたい と考えています。

4.1 IPO前後の企業規模の変化

- ① IPO後、会社のガバナンス構造は強化されるのか?
- ② IPO後、資本調達能力及び知名度が向上する ことに伴い、資金繰りの状況は改善するのか、 設備投資や研究開発は積極的に行われるよう になるのか?



・プ育ての主体となりやすい母親に着目し、合理的 サポートが適応に及ぼす影響について、完全主義 を考慮した検討を行う。

受容的(合理的)サポート

適応 (パーンアウト) 孤独感



完全主義、情報源の種類、情報収集の仕方が 育児情報環境評価と適応に与える影響



古谷嘉一郎 講師

- ●課題番号: 26750352
- ●種別:若手研究B (2014年度~2016年度)
- ●主たる担当科目 社会心理学Ⅰ·Ⅱ

■研究の背景

近年、インターネット上に育児情報は大量にあ ふれているにもかかわらず、量的にも質的にも満 足いく情報を取得できない養育者の事例が散見 されます。

加えて、情報の源はインターネットだけではなく、 養育者を取り巻く対人関係にもあります。例えば 養育者の親、養育者のパートナー、近所の人、友 人、保育施設等があるでしょう。

本研究では、こういったインターネットや対人関 係に代表される、養育者に情報を与えてくれる環 境を情報環境と定義し、この情報環境の特徴が 育児中の養育者の心身の健康や適応に与える 影響を探っています。

さらに、本研究では完全主義という個人特性も 考慮に入れました。完全主義的な人は育児情報 を一生懸命集めるものの、その集めた情報に満 足することができず、情報をさらに集めてしまうかも しれません。その結果として、心身が疲れ果ててし まうことが考えられます。

■現在までの検討結果の概要

文献調査から、完全主義は2つに分類可能で あることが分かりました。1つは100%に近づくた めの前向きな努力「完璧に近づくための努力傾 向 |、もう1つは100%であり続けるための懸念 [ミ スに対する懸念」です。

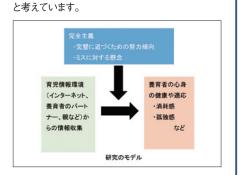
さらに、文献の検討を元に複数回の調査を実施 しました。そして、いくつかの結果が明らかになって きました。特徴的な結果として、完璧に近づくため の努力傾向とミスに対する懸念の両者が強い人 は、インターネットで情報を集めるほど心身が消耗し

たり、自分は一人ぼっちであるといった孤独感が強 いこと、その一方で、パートナーからの情報提供に よって孤独感を和らげることが明らかになりました。 現在は、育児情報収集の種類について詳細な 分類・分析を行っています。この分析をもとに、どう いった情報源(例:インターネット、対人関係)か らどのような内容の情報を集めることが養育者に

とって望ましい結果をもたらすかを明らかにしたい

うお人のイフリントである。

ート受価の程度にから ったしては同程度



■2015年度~2016年度 科研費の新規採択課題

2015年度~2016年度、新たに、下 記の2件の研究課題が科研費の助成 対象になりました。



市場参加者の多様な期待形成が 証券価格に与える影響に関する研究



吉川 大介 准教授

- ●課題番号:15K03546
- ●種別:基盤研究(C)
- ●期間:3年 ●主たる担当科目

金融システム/ビジネス・エコノミクス



サービス業におけるイノベーション の創出が組織業績に与える影響の 理論的·実証的研究



関谷 浩行 准教授

- ●課題番号:16K17210
- ●種別:若手研究(B)
- ●期間:3年
- ●主たる担当科目

管理会計/マネジメント・コントロール

nformation

資格取得

公認会計士試験



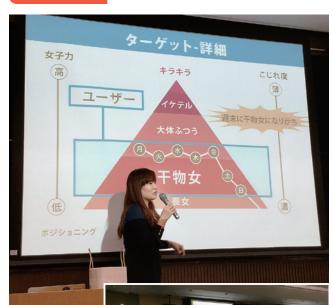
本年度公認会計士試験において今村ゼ ミ所属の笹本拓実さん(経営学部3年生)が 最終合格しました。なお2016年度における 公認会計士の最終合格率は10.8%でした。

笹本 拓実さん

所属ゼミ: 今村ゼミ 出身高校: 札幌開成 入学年次:2014年度

特別講義

地域の事業創造



この講義は、 札幌近郊の長年 成功を続ける優 れた経営者・役 員から講演をい ただく連続講演 を中心に構成さ

れます。また、実践を意識して参加学生には講演をしていただいた 経営者の話をヒントにビジネス・プランの作成・プレゼンテーション を行ってもらいます。成果はコンペ形式で競い合いモチベーショ ンを高めます。

2016年度は、以下の方々に講演していただきました。

佐藤 太一	プレイライフ(株)代表
高橋 憲明	SGフードホールディングス社長
Harvey Beasley	在札幌米国総領事館 広報文化交流担当領事
高橋 空	(株)ノースグラフィック
杉本 隆史(株)	(株)札幌立体データサービス
河野 有美	北海道女性企業家 有限責任事業組合rimrim代表
古俣 臣弥	特定非営利活動法人 アカルクイキル代表
浦田 祥範	道銀地域総合研究所 取締役専務執行役員
赤坂 武道	(株)リアセック
東川 敏文	公益財団法人北海道科学技術総合 振興センター常務理事

特別講演

国税局講演会

11月12日、経営学 部の1年生を対象に、 札幌国税局国税広報 広聴室長 後山隆司 氏と同国税広報広聴 室室長補佐 泉澤百 代氏をお招きして講 演会を開催しました。

「税務行政の現状



と国税庁の取組」と題して、我が国税制のあらましから徴税にまつ わる経験談まで幅広い話題でお話しいただきました。

特別講演

税理士講演会

6月25日、税理士 による講演会が簿記 |および商業簿記(庄 司樹古教授)の授業 で、井上税務会計事 務所の岡山佳子氏を 講師に迎えて行われ ました。



トビタテ!留学JAPAN



文部科学省が中心となり官民協働のもとで取り組む留学プロ ジェクトである「トビタテ!留学JAPAN」の参加者に経営学部3年の 作左部正隆さん(大平ゼミ、札幌東高校出身)が選ばれました。

タイ・カセサート大学での"Workshop for Effective Intercultural

Communication"への参加を通 じて異文化衝突について学んだ 後、SBIタイオンライン証券にイ ンターンとして参加し、タイ証券 市場の将来性についてプレゼン テーションを行いました。

実務的な海外ビジネスを経験 したことが、シンガポールで行わ れた商談会においての商談通訳 という成果に繋がりました。







「海外総合実習 ブロック大学



▶バックナンバー http://ba.hgu.jp/ passages/